

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月23日

札幌市長 様

提出者

住 所 〒003-0871

札幌市白石区米里1条4丁目3番10号

氏 名 株式会社 真成ロード

代表取締役 鈴木 豊勝

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-872-0409

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社真成ロード
事業場の所在地	札幌市白石区米里1条4丁目3番10号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

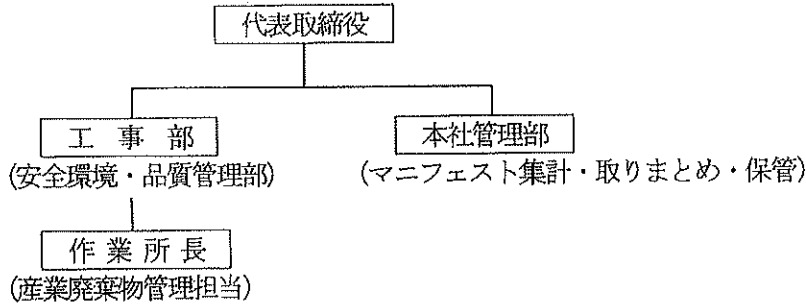
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高 281百万円 資本金 10百万円
③ 従業員数	16人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥：収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し、埋め戻し材として再資源化 廃プラ、紙くず：収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化 木くず：収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し、燃料用チップとして再資源化 がれき類：収集運搬業者に委託→中間処理業者に委託し、再生砕石、再生アスコン、再生骨材に再資源化 ※収集運搬は自己運搬を行う場合あり。

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (4年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
① 現状	排 出 量	t	t
	(これまで実施した取組) ・当初の設計数量より過剰に産業廃棄物を発生させないようにする。 ・適切な分別を行うため作業場内での教育等を行う。 ・協力会社へ説明を行い発生する廃棄物の抑制に協力してもらう。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
② 計画	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・上記に加え次の取組を実施予定。 ・梱包材を簡素化し、排出量の減量に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物の削減に取り組み、「安定型のみ」「管理型含む」の分別を徹底し最終処分量の削減を目指している。 ・がれき類 (コンクリート殻、アスファルト殻) は作業所内で分別のうえ、処理業者へ委託している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・施工計画の段階でおよそその品目がどれくらい発生しそうかを想定し、作業所内にそれに見合った分別ボックスを設置し、細分化を図る。 ・作業従事者への周知徹底を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、必要な許可を持った産業廃棄物処理業者に委託している。 ・契約の段階で、処理業者の処理方法を確認し、再生利用業者への処理委託に努める。 ・再資源化率の高い処理業者を選定している。 			

		【目標】	
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり
② 計画	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t
	再生利用業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・発生場所、作業所からの距離など立地的な問題もあるが、可能な限り優良認定処理業者を選定するよう指導します。 ・再生利用、熱回収が可能である産業廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へそれぞれ処理委託する。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請け完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによつて減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1処理工程図

